

## 第14回環境教育・環境学習ネットワーク会議 会議録

日 時：平成26年5月27日（火） 15:00～17:00

場 所：市役所3階会議室B

出席委員：高橋座長、鈴木副座長、内船構成員、太田構成員、大森構成員、桐谷構成員、小谷構成員、高橋直人構成員、高橋正明構成員、奈良谷構成員、野崎構成員（11名）

事務局：環境政策部環境企画課（小澤課長、笠原主査、高橋、山中）

傍聴：1名

### ◆ 会議の流れ

#### 1 開会

#### 2 報告

- (1) 平成26年度教員向け環境学習講座について
- (2) 平成26年度よこすかE C O通信のテーマについて
- (3) 平成26年度環境教育関連事業庁内調査結果について

#### 3 議題

- (1) 環境啓発イベントについて

#### 4 その他

- (1) 事務連絡

### ◆ 報告の要旨【事務局から説明】

#### (1) 平成26年度教員向け環境学習講座について

第13回会議で議題とした環境学習講座については、会議後、教育委員会と調整の結果、教育委員会との連携講座として実施することとなった。講義の内容については、前回示した通り。日程は平成26年8月12日（火）、講師は里山実行委員会の委員長である天白牧夫氏、場所は荻野小学校および沢山池の里山と決定した。学校へは6月末の案内を予定している。

#### (2) 平成26年度よこすかE C O通信のテーマについて

第12回会議で議題としたE C O通信のテーマについて、構成員の意見を基に、今年度は地域の身近なテーマを取り上げることとした。テーマの中で、具体的な地域を登場させるようにする。

### (3) 平成 26 年度環境教育関連事業庁内調査結果について

例年実施している庁内での環境教育に関連した事業の調査を実施した。今年度は 8 部局で 99 事業の実施が予定されている。調査結果については庁内に還元し、情報共有しているが、この調査結果の活用は行っていない。今後は活用についても、考えて行く必要がある。

#### 高橋座長

事務局から 3 件の説明があった。

では、「報告 1 平成 26 年度教員向け環境学習講座について」ご意見、ご質問があれば、ご発言をお願いしたい。

#### 鈴木構成員

8 月 12 日に実施し、目的は教員を通して子どもたちへ伝えて行くということだが、教員の方たちはこれを共通の手段で子どもたちに伝えて行くのか、あるいは個々が考えて子どもたちに伝えて行くのかをお聞きしたい。

#### 笠原主査(事務局)

今回考えているのは、先生方にこちらから題材のみを提供するもので、先生方がそれを授業でどのように活用していくかは、個々にゆだねる形になる。実施後に状況を伺ったうえで、何か個性的な教材が用意できれば、環境企画課主導なのか、あるいは教育研究所に相談して、次の発展もありえると思う。しかし、今はそこまでではなく、先生方に自由に捉えていただき、どのような授業で使うのか、社会または理科、あるいは家庭科で使うのか、色々模索してもらえればと思っている。

#### 高橋座長

よろしいでしょうか。その他ございますか。

高橋さんお願いします。

#### 高橋正明構成員

経緯に教育委員会との連携講座と記されている。その効果が 3 に書かれており、このような効果はいいことだと思うが、来年度以降も同じような考え方で進めるのか、それとも今回だけ特別なのか、どのような方向か。

#### 笠原主査(事務局)

確定は非常に難しい。今年は、教育委員会に研修として取り扱っていただいたので、引き続きこの形を維持して行いたい。しかし、同じテーマを行うかどうかは今年の反響次第

である。そこは反省を踏まえ、さらにレベルをあげたものにするか、テーマを変えていくかはその後になる。せつかく確保できた教育委員会の研修枠1枠であるので、環境学習という視点で企画、提案ができればと思う。

#### **高橋正明構成員**

効果の中で、研修として休暇の取得がなくなったというところは、例えば今回は夏休みの実施だが、夏休み以外の他の時期でもこのような進め方は可能になるわけか。そうすると色々テーマが広がると思う。夏だと里山だが、秋や春はまた色々な方向性が出ると思うが、そういうことも含めて検討を進めるということか。

#### **笠原主査(事務局)**

先生向けの研修を実施する上で重要なのは、先生が来やすい時期に実施することになる。テーマや季節が良くても、学校の通常業務の中で土・日に研修に来ることが可能かというところ、今まで教育委員会からいただいた話の中では、難しいということだった。先生が最も来やすいのは夏休みの期間中で、色々な他の研修がある中でやるのが一番良いため、時期的には夏になってしまう。本当は秋とか冬の方がテーマとして適しているということもあるが、いいテーマでも集まっていけないのでは意味がない。今後も研修の実施は相談しながら企画をしていくが、現時点では一番先生方が来やすい夏の時期に研修を設けていきたいと思っている。

#### **太田構成員**

教育委員会としても、夏休みのこの時期に環境企画課から研修をいただき感謝している。この節、里山や田んぼに興味を持たれている先生方はいるのでとてもいい企画だと思っている。また、冬や春になると、春は特に業務と異動があるのでなかなか研修に出づらくなる。しかし、平日の水曜日は5時間授業で終わるので、3時半以降1時間の観察会などは実施可能である。実際、理科研究会なども開催している。もしそういう企画があれば参考にさせていただいて、先生方にお知らせすることができるので、よろしく願いしたい。

#### **高橋正明構成員**

ではその辺は色々調整していただき、幅広くテーマが選べる方向でご検討いただければより効果があると思うので、よろしく願いしたい。

#### **高橋座長**

実際研修に参加されるのは先生個人となる。案内は多分学校に送られて、先生個人に全ていくということはないと思う。学校に連絡がいったとき、それぞれの先生にいくまでのかたちは具体的にどのようなになるのか。

### 太田構成員

まず、夏の研修一覧表として大きく印刷されたものが職員室に貼り出される。また、現在は個人にパソコンが割り振られているので、個人のパソコンから教育研究所にアクセスし、研修一覧を一人一人が見ることができる。その一覧の中から自分が興味あるものをチェックし申し込むと参加できるかたちになっている。研修は全部で90くらいあるので、それを1人1人に渡すわけではなく、パソコンのインターネット上から一覧を見て選んでいくかたちになる。

### 高橋座長

それに関心がある先生が申し込むということか。ちなみに昨年の参加はどのくらいだったか。

### 笠原主査(事務局)

昨年はごみをテーマにしましたが、先生方は6名だった。

### 高橋座長

太田さん、いかがですか。

### 太田構成員

6月13日に全小学校の理科担当の先生方が集まり、授業研究会を行う。そこでエコチャレンジと8月12日の研修について発信する。6月18日に中学校の理科の先生が全員集まる会があるので、こちらから発信し、学校に戻していただく。これら6月の研修での周知と全体に配られるものの2段階でやっていこうと思っている。

### 高橋座長

昨年はその過程はあったのか。

### 太田構成員

昨年、教育委員会は研修に絡んでいなかったのだから、行っていない。

### 高橋座長

では、今年は期待できそうか。

### 太田構成員

昨年のようなことのないように、20人程度の参加者はと思っている。

## 高橋座長

その他、いかがですか。

## 野崎構成員

質問になるのだが、学校の先生方に紹介してくださるときに、環境学習としての枠の中での紹介となるのか。または、総合学習としての紹介の仕方になるのか。伺った理由は、理科の先生方が環境に焦点を当てお越しになるかと思うのだが、目的にも書いてあるように、田んぼとなると社会科や他の教科にも色々関係がある。他の教科の参考にするために参加してみようと思う先生方がきつといらっしゃると思う。環境学習という枠の中に当てはめて紹介するのがいいのか、また他の紹介の仕方があるのかということ考えた方がいいのではないか。フィールドワークや自然観察だと、どうしても理科や環境になると思うが、里山実行委員会などでは、地域の農家の方も参加している。昔の田んぼのことや農作業のことなど、色々社会科にも共通するような学習ができるのではないかと、その切り口になるのではないかと感じている。

## 高橋座長

あまり環境の枠にこだわらずに、総合学習全体に投げかけてはどうか。

## 笠原主査(事務局)

先程、太田先生からもお話があったが、学校の先生が見られるイントラネットのメニュー画面の中で、この講座の入口は「環境学習」で、その次に「田んぼの自然観察会」と簡単な内容が書かれています。それはどの教科も同じレベルになっている。そのため、理科にも社会にも載っているのではなく、入口は一つのみ用意されている。理科だけに載るというよりは、かえって目を引くトピックになる扱いになるかと思う。見せ方を何か注文して変えた方が良かったかというのも、実際実施してみたらになってしまうかと思う。今回はそのような入口の用意をしていると教育研究所から伺っている。

## 高橋座長

その他、ございますか。内船さんお願いします。

## 内船構成員

環境学習というキーワードの中で1点確認したい。これはネットワーク会議の主題にも係わってくるのかと思うが、環境学習というものが理科の分野のものだけを指すのか。環境学習と考えたときに、人と自然の間を含めたものという捉え方をすることがあると思うが、そうすると自然は自然科学になるが、それに対する人間のアプローチは人文科学がフォローするかたちが多い。先程、野崎さんが言ったとおり、田んぼというのはどち

らにも係わってくるであろうということであれば、この環境学習ネットワーク会議というものの自体も特に理系に偏るということもなく、私は博物館で昆虫担当の学芸員として出席しているが、人文系の学芸員が参加するかもしれないし、その辺はかなり広い意味で捉えているということによろしいか。

#### 高橋座長

ありがとうございました。

それでは、会議を進行します。

続いて、「報告2 ECO通信のテーマについて」

6月号の内容確認については別にあるので、後で詳しく見ていただき事務局に連絡していただきたい。テーマについて何かご意見、ご質問があればお願いしたい。

#### 鈴木構成員

15号のグリーンライティングに光害対策とあるが、あまり明るくし過ぎてしまうと、公園に生息している植物等への害があるからいけないという内容か。

#### 笠原主査(事務局)

鈴木構成員のおっしゃるとおりである。

#### 鈴木構成員

具体的に何か事例があるか。

#### 高橋座長

これまで問題視されているのは、強い光よりも、本来明るくするところではないところに光がいつてしまう。それに対する対策である。

#### 鈴木構成員

植物も24時間光を当ててしまうと、どうしても疲れてしまう。防犯の関係もあるが、本来夜はゆっくり休ませてあげるのがいいということらしい。自分も照明に関連する会社であるので、内容が気になる。ではECO通信の発行を心待ちにしておく。

#### 高橋座長

グリーンライティングとは一般的な言葉か。

#### 鈴木構成員

初めて聞く言葉だが、グリーンとはやさしいという意味か。

### 高橋(事務局)

環境省で使用していた言葉である。グリーンライティングという単語にこだわりがあるわけではない。

### 高橋座長

佐原2丁目公園とあるが、以前の日産自動車久里浜工場か。

### 笠原主査(事務局)

はい。リーフスタジアムになる。

### 高橋座長

どなたか、他に質問などはございますか。

では、続いて「報告3 平成26年度環境教育関連事業の庁内調査について」ご質問、ご意見あればご発言お願いしたい。

### 高橋正明構成員

目的の中に「庁内で実施されている事業の把握」となっているが、調べた結果を何かに使う考えはあるのか。せっかく調査を行い、同じようなものが複数のところでやっているとすると、そこで共同してやるとか、そういうことを含めてこの結果を昇華させるといいと思うが、その辺はどうか。

### 笠原主査(事務局)

今、高橋構成員の言われたことは、ごもつともである。集約した後は庁内にフィードバックしている。それを各部局で、事業実施の参考としてもらう。例えば仰られたような、共同で実施するとか、または来年度の企画の参考にさせていただく等。ただし、こちらから誘導的に各部局に戻すようなことはない。「紹介いただいた結果としてこのようになってるので情報を提供」というかたちで発信をしている。一方で、その狙いとしては、ただ集めてそれで終わりであれば、集める必要性がない。それぞれの部局によって、各事業への立場も違うので、次回のテーマとか、ここでやっているならうちでもできないかというような発想を、それぞれで判断いただくのが現状の資料の扱いになっている。

### 高橋座長

その他、ございませんか。では、内船さんお願いします。

### 内船構成員

これは教育研究所が行っている研修が入っていないが。今回このネットワーク会議での

教員向けの研修は入っているが、どういった違いか。

#### **笠原主査(事務局)**

確かに、先生方の研修は数多くあると思うのだが、元々この調査では職員の研修を載せるのではなく、広く一般の方を対象にした事業を調べている。ネットワーク会議の位置づけの研修が先生向けとピックアップされているので違和感があると思うのですが、元の発信はそこだったため、教育委員会実施の研修は掲載していない。今回学校の先生向けの研修は、新しい試みとして掲載しているが、これが固定的になってくると、ここから除かないとバランスが崩れてしまう可能性がある。次回、検討させていただきたい。

#### **高橋座長**

47番に「大楠山の春の植物」と言いながら、実施場所が二子山になっているので、修正していただきたい。

また、これと同じようなことを市民活動団体も行っている。それもいずれ何らかのかたちでまとめる必要があるのかと思う。

#### **笠原主査(事務局)**

今の座長の話で市民活動の方の活動をまとめるという話があったが、広く市民活動の方の年間スケジュールをどこまで取れるかというところがある。市民活動を一つのかたちにして、年間の環境カレンダーとして出すと、楽しめるのではないだろうか。言うてすぐにできるようなどころではないが、市民の方から情報を集めたらそれを発信しないと意味がないので、今後どのように発展していくか考えてみることも一つと思う。

#### **高橋座長**

情報として、市民活動団体、環境活動団体に流してくれると有難い。自然環境共生課で市民活動団体に対して、向こう3カ月の活動予定の情報を集めているが、あまり積極的に情報が集まっていない。我々市民活動団体側にも問題があるのだが。それは自然環境共生課の事業となるが、今後何かしらやっていく必要があると考える。

その他、何かございますか。

#### **高橋直人構成員**

こういうかたちで集めていただいて集計したものを見られるのは非常に有難い。生涯学習センターやコミュニティセンターで市民向けに色々な事業をやっているが、同じような時期に、同じような講座をあっちでもこっちでもやっているのではないかという意見がある。そうした時に、「では、止めましょう。」と環境に関する講座が減っていくのは問題だと思う。各地域で必要な時期に必要なことを行う重要性と、市全体として講座を体系的に



考えることのどちらを取るかは非常に難しいところだが、そのような意見もあるとご承知いただければと思う。

#### 高橋座長

この中には各行政センターやコミュニティセンターでやっているものは入っているか。

#### 笠原主査(事務局)

入っています。

#### 小谷構成員

意見ではないが、事業数が99個となっている。今、資源循環推進課では、ごみの分別や出し方関係のアプリをリリースし、30日に配信する予定である。それを入れると100個になり、切りのいい数字になる。

#### 高橋座長

日産のお二方、全体を含めてご意見いかがですか。

#### 大森構成員

特にありません。

#### 高橋座長

では、3件の報告に対する質問、意見を終了する。

#### ◆議題1の要旨 : 環境啓発イベントについて

##### 【事務局から説明】

環境企画課で実施している、啓発イベント「よこすか環境フォーラム」であるが、滞留者が少ないなどの課題がある。今後より多くの人に参加してもらうための工夫や企画内容について、意見交換をし、今年度の事業へ活かしたい。

加えて、環境月間に行う啓発イベントについて、イベント事業全体への提案を頂きたい。

#### 高橋座長

それでは、今日のメインとなります「議題1 環境啓発イベントについて」グループ討議をすることを含めて皆さんいかがでしょうか。

#### 鈴木構成員

計画どおりで異議なし。

#### 高橋座長

グループ討議に移ってよろしいでしょうか。

( 異 議 な し )

#### 高橋座長

グループ討議をするにあたって、参考資料の説明を事務局からお願いしたい。

( 資 料 説 明 )

#### 高橋座長

資料4について補足をさせていただきます。

「よこすか環境フォーラム」というのがあるが、横須賀市環境基本計画が策定されるにあたり、我々、「よこすか環境懇話会」という集まりが中心となり、市民活動をやっている団体と行政との間で話し合いながら、活動に参加している方を含めて議論しようと、環境フォーラムをずっと行ってきた。一方、横須賀市では、今、説明がありましたように、「こどもエコクラブ全国大会」があり、それを基に「こども環境フォーラム」を実施、それが発展し「よこすか環境フォーラム」ということになっている。名称が同じになっているが、我々市民活動団体は、環境基本計画ができたその頃から色々とやってきている、ということを追加させていただきたい。

それでは、これからグループ討議に移るので、メンバーの発表を事務局へお願いする。

( グ ル ー プ 発 表 )

#### 高橋座長

それではグループ討議に移ります。

(グループ討議実施 討議 40分)

(グループ討議終了)

#### 高橋座長

これまでの環境フォーラム、環境イベントを踏まえての色々なお話が聞こえてきた。熱

心な討議が行われたようだ。それでは、そこで話し合われた要旨で結構ですのでAグループから発表をお願いしたい。

#### 【Aグループ】

##### 小谷構成員

###### 1. よこすか環境フォーラム

###### (1) 現在の内容や構成の是非(良い点や改善点)

###### 【良い点】

- ・表彰式に来られる家族の方も付いてきて固定客となり確実な入れ込みになる

###### 【改善点】

- ・現在のかたちは時間が長い
- ・表彰式が形式的になっているのでもう少しカジュアルにした方がいい

###### (2) 参加しやすい、参加したくなる内容の提案

###### ①参加しやすくなるための工夫

- ・前は終わりが17時ということで遅く、2月の夕方5時は寒いし暗いのももう少し終わりを切り上げた方がいい。
- ・現在は開始が午後からだが、午前から始める2部構成にする。昼をはさむがお客さんが入れ替わるという考えもありではないか。
- ・ゆるキャラを全面的に出してやるのはどうか。

###### ②参加したくなるイベント内容

- ・ステージに知名度のある方を呼ぶ。
- ・フロア展示を変えてみる。
- ・以前あったようだが、クイズをやり、クイズの答えを終わりの方にもってくることでお客さんを引っ張る。
- ・どこかで映画を配信し、見ていただく場を設ける。

##### 高橋座長

Aグループで補足はありますか。

事務局から話があったのだが、前回、汐入小学校の子ども達が遅くまで残った一つの理由が「スカリンと一緒に写真が撮りたかった」ということらしいので、スカリンをもう少し上手く使う方法もあると思う。

では、Bグループの発表へ移る。

#### 【Bグループ】

##### 桐谷構成員

###### 1. よこすか環境フォーラム

(1) 現在の内容や構成の是非(良い点や改善点)

**【改善点】**

- ・時間が長い。
- ・目的が①、②とあるが二つ同時に狙うのはなかなか難しい。
- ・受け身の内容になっていて参加するかたちになっていない。

(2) 参加しやすい、参加したくなる内容の提案

- ・全体の構成を割り切ってコンパクトにしたらどうか。ステージをやっているが、ステージの前と後でお客さんが入れ替わってしまうということなので、ステージが集客の目的ならば効果あまり出ていないという判断になる。いっそのこと、ステージを止めてしまう。内容的には表彰と発表に絞る。そうすることにより、時間も短縮し、暗くならないうちに終わり、いいのではないか。
- ・何か繋ぎ止め策があってもいいと思う。例えば抽選会を実施する。その抽選会の景品に企業に協賛して欲しい、また行政で予算化できないかという話が出た。もう少し最後まで残ってもらえるような手立てを考えていけばいい。

**高橋座長**

ありがとうございました。Bグループの補足事項はありますか。

( 補 足 な し )

**高橋座長**

では、内容について質問やご意見があればご発言お願いしたい。

**野崎構成員**

私個人の意見ですが、Aグループから出た映画の上映はいいのではないかと。今、環境問題にしる、自然や生物、その他のことにしる、いい映画やフィルムがかなり出ていると思う。そういうものなら、私は残って見たいかなと感じた。ただ環境問題となると政治的な問題が絡んでくる可能性が高いので、数があるだけ選ぶのが大変かと思うが、私としては興味がある。参加者が前半と後半と違ってしまってもいいと思う。遅いから大人の方が改めて映画を見に来るとか、そういう参加のし方もありかなと感じた。

**高橋座長**

ありがとうございました。参加した人を最初から最後まで引っ張る必要はないかと思う。それはAグループも同じような意見をもっていた。他に何かございますか。

( 質 問 ・ 意 見 な し )

#### 高橋座長

色々な意見があった。全部取り上げることは難しいので、その中のいいもの、効果的なものを事務局に取り上げていただきたい。事務局から皆さんに質問はありませんか。

( 質 問 な し )

#### 高橋座長

それでは、今日の議題は終了する。

その他、事務局から報告事項がありましたらお願いしたい。

#### 笠原主査(事務局)

報告の前に桐谷構成員から、皆さんにご紹介したい案件がある。

#### 高橋座長

では、お願いします。

#### 桐谷構成員

日産追浜工場で年間7～8万人の小学生を受け入れて工場見学をしている。その一環として、夏休みの期間にもっと色々な人に来てもらおうという計画をしている。基本は工場見学ということで、7月30日・31日の午前中に市内の小学生を対象に募集をかける。市の企業誘致工業振興課とタイアップして企画し、7月の市の広報に載せる予定である。

その中で、日産では電気自動車や燃料電池など環境に係ることもやっているのですが、小学生が来るこの機会に、環境やエコの視点でも何かやってくれませんかという話が広がった。そこで、燃料電池の技術を使った車を見たり触ったりしていただき、環境視点での夏休みの勉強になるイベントを企画している。先程の報告のリストに載るのかなという気もするが、日産ではこういった活動も行っているのだから、ご紹介させていただいた。

#### 高橋座長

地球温暖化対策協議会には何か連絡をされているか。

#### 桐谷構成員

担当が連絡をしているか確認していないが、どのようにアナウンスしたらいいか。

#### 高橋座長

もしあれば、情報をいただければと思う。工場見学は一般公開ということか。

**桐谷構成員**

電話での申し込み制になる。9時半から11時半まで工場見学と環境教育を行うと聞いている。以上です。

**高橋座長**

それでは事務局から。

**笠原主査(事務局)**

第15回の環境教育・環境学習ネットワーク会議については、10月の開催を予定している。日程調整票はまた改めて送付させていただくので、ご対応をお願いしたい。事務局からの連絡事項は以上です。

**高橋座長**

事務連絡が終了したので、構成員の皆さまから他に何かあれば、ご連絡をお願いしたい。

( 連 絡 等 な し )

**高橋座長**

特になければこれで終了とする。ありがとうございました。